



あしあと 9 巖流島(船島)
 ある夜、龍馬は、愛妻お龍とこっそり巖流島に渡り、一緒に花火を上げたという。

坂本龍馬・下関関連年表

西 暦(元号)	月	事 件
1835(天保6)年	11月	郷士坂本八平の二男として高知城下に生まれる。
1862(文久2)年	3月	土佐藩を出奔。(脱藩1回目)
	4月	下関に立ち寄る。(推定)
	12月	この頃、勝海舟が提唱する海軍設立に共鳴し、以後海軍塾・海軍操練所の創設に協力。
1863(文久3)年	6月	外国艦隊の長州攻撃を黙視する幕府に対して憤り、「日本を今一度せんたく」せんと決意する。
1864(元治元年)	11月	神戸海軍操練所の事実上の閉鎖。勝の斡旋で、薩摩藩の庇護下に入る。(脱藩2回目)
1865(慶応元年)	5月	薩長同盟締結に向けて活動開始。太宰府で長府藩士の時田少輔らと会談。
	閏5月	薩長同盟締結の地均しのため下関を訪ね、桂小五郎(木戸)と会談。桂より薩摩藩名義による武器購入を依頼される。
	9月	西郷から預かった密書を長州へ届けるとともに、長州藩から薩摩藩への米提供を依頼。
	10月	下関に入り、長府藩士伊藤隼や下関の大年寄伊藤九三と面談。
	12月	下関に入る。薩長同盟締結に向けて木戸に上京を説得。
1866(慶応2)年	1月	長府藩士三吉慎蔵と上京。薩長同盟締結。寺田屋事件発生。三吉慎蔵とともに窮地を脱する。

西 暦(元号)	月	事 件
1866(慶応2)年	6月	小倉戦争に参戦。高杉晋作とともに幕府軍と戦う。
	12月	長崎より下関に入る。
1867(慶応3)年	1月	公式に下関を居所にすることが決まる。
	2月	愛妻お龍を下関に呼び、伊藤九三よりその邸宅の一室「自然堂」を借り受けて生活を始める。この頃、夫婦で伊藤家の歌会に参加。
	3月下旬	下関を離れ、長崎に向かう。
	4月	海援隊長となる。龍馬の乗船する「いろは丸」が、紀州藩船「明光丸」と衝突、沈没。
	5月	下関に帰還。「いろは丸事件」談判のため、交渉地となった長崎へ向かう。三吉慎蔵・伊藤隼・伊藤九三にお龍を託す。
	6月・8月	下関に一時帰還。
	9月	長崎から土佐に向かう途中、下関に立ち寄る。お龍・下関との永訣。
	11月	「新政府綱領八策」を起草。京都にて、凶刃に倒れる。下関で龍馬の帰りを待つお龍は、全身傷だらけでしょんぼりと枕元に立つ龍馬の夢を見たという。

主要な参考文献:「龍馬の翔けた時代」京都国立博物館
 「坂本龍馬と下関」下関市立長府博物館

下関市立長府博物館 下関市長府川端一丁目 2-5 TEL083-245-0555

- 開館時間: 午前9時30分~午後5時(ご入館は4時30分まで) ※月曜休館
 - 交通のご案内: JR 下関駅から長府方面行きバス、JR 長府駅から下関方面行きバス、JR 新下関駅から城下町長府経由下関駅行きバス乗車、城下町長府バス停下車・徒歩 12分
- <http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kyoiku/chohuhak/index.html>